

2005年度 東北大学法科大学院入学試験

試験科目： 民法 (50分)

Aから同人所有の印刷機械甲を賃借して印刷工場を経営するBは、甲の調子が悪くなったため、Cに甲の出張修理をしてもらった。ところがBが事実上倒産したため、AはBの同意の下に甲の返却を受けてこれをAの倉庫に運び込んだ。なお、AB間には、甲の修理費用はAの負担とする旨の約定がある。

Bに対しては、Cが上記修理の代金債権100万円を有しているほか、Dが貸金債権100万円を有しており、さらにEは2か月分の給料債権50万円を有している。

以上の事実関係を前提として、以下の質問に答えなさい（各小問は相互に独立の問題である）。

(1) Cの立場から、Cが、DおよびEに先立ち自らの債権の満足を受けるべきことを論じなさい。

(2) Eの立場から、Eが、CおよびDに先立ち自らの債権の満足を受けるべきことを論じなさい。

(3) Dが、Bに対する貸金債権の担保として、Bから甲につき譲渡担保の設定を受けていた場合について、DがAに対して譲渡担保の設定を受けたことを主張することができるかどうかを検討しなさい。